

臨床泌尿器学

科目到達目標: 尿路臓器の異常を識り、診断と治療を説明できる。

科目責任者(所属): 武中 篤(腎泌尿器学)

連絡先: 腎泌尿器学分野(0859-38-6607)

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・ 分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	4/2(火)	3	431	尿路上皮腫瘍1	本田 正史	腎泌尿器学	尿路上皮腫瘍の疫学、病因、病理、診断	膀胱癌、腎盂尿管癌、血尿、膀胱鏡
2	4/4(木)	1	431	糸球体疾患の概説と急性腎炎症候群	福田 佐登子	機能病態内科学	糸球体疾患の臨床病型、急性腎炎症候群、急速進行性腎炎症候群の診断と治療	溶連菌感染後急性糸球体腎炎
3	4/9(火)	3	431	尿路上皮腫瘍2	引田 克弥	腎泌尿器学	尿路上皮腫瘍の治療、尿路変向術	TUR、膀胱全摘、膀胱内注入療法
4	4/11(木)	1	431	急速進行性腎炎症候群、慢性腎炎症候群	福田 佐登子	機能病態内科学	慢性腎炎症候群の診断と治療	半月体形成性糸球体腎炎、IgA腎症、膜性腎症
5	4/16(火)	3	431	腎細胞癌1	岩本 秀人	腎泌尿器学	腎細胞癌の疫学、診断、病理、分子メカニズム	偶発癌、淡明細胞癌、遺伝性腎癌
6	4/18(木)	1	431	ネフローゼ症候群	福田 佐登子	機能病態内科学	各種の原発性ネフローゼ症候群の診断と治療	微小変化群、巣状糸球体硬化症、膜性増殖性糸球体腎炎
7	4/23(火)	3	431	腎細胞癌2、腎後性腎不全	森實 修一	腎泌尿器学	腎細胞癌の治療(外科的、内科的)、腎後性腎不全の治療	根治的腎摘除術、腎部分切除術、腹腔鏡手術、ロボット手術、免疫療法、分子標的治療
8	4/25(木)	1	431	続発性糸球体疾患	福田 佐登子	機能病態内科学	各種の続発性糸球体疾患の診断と治療	糖尿病性腎症、ループス腎炎、アミロイド腎、血管炎症候群
9	5/9(木)	1	431	尿路結石1	引田 克弥	腎泌尿器学	尿路結石症の成因、病態、予防	結石形成、腎痙攣、食事療法
10	5/14(火)	3	431	尿細管間質疾患	高田 知朗	機能病態内科学	各種の尿細管間質疾患の診断と治療	尿細管性アシドーシス、ファンコニー症候群、尿細管間質性腎炎
11	5/16(木)	1	431	小児泌尿器科	本田 正史	腎泌尿器学	小児泌尿器科の診断と治療	VUR、尿道下裂、停留精巣、包茎
12	5/23(木)	1	431	尿路結石2	岩本 秀人	腎泌尿器学	尿路結石症の治療	ESWL、PNL、TUL
13	5/30(木)	1	431	腎不全1	福田 佐登子	機能病態内科学	腎不全の原因と症候	急性腎不全、慢性腎不全
14	6/6(木)	1	431	排尿障害1	本田 正史	腎泌尿器学	排尿障害の種類と排尿症状の分類	排尿症状、畜尿症状、尿失禁
15	6/13(木)	1	431	腎不全2	福田 佐登子	機能病態内科学	腎不全に対する血液透析、腹膜透析の適応と実際の治療	血液透析、腹膜透析
16	6/26(水)	1	431	排尿障害2	本田 正史	腎泌尿器学	排尿障害の診断	尿流測定、残尿測定、膀胱内圧測定、圧尿流測定
17	6/26(水)	2	431	神経因性膀胱	本田 正史	腎泌尿器学	神経因性膀胱の診断と病態別の治療	脳血管障害、脊髄損傷、骨盤内手術、自己導尿
18	7/2(火)	3	431	腎動脈狭窄 (腎血管性高血圧)	濱田 紀宏	地域医療学	腎動脈の狭窄が全身状態に及ぼす影響と治療	二次性高血圧、動脈硬化、線維筋性異形成、レニン・アンジオテンシン系、PTRA
19	7/4(木)	1	431	過活動膀胱	本田 正史	腎泌尿器学	過活動膀胱の病態と治療	尿意切迫感、頻尿、尿失禁、抗コリン剤、ボツリヌス毒素
20	7/9(火)	3	431	尿路・性器の損傷、救急疾患	武中 篤	腎泌尿器学	尿路・性器損傷および泌尿器救急疾患の診断と治療	腎損傷、膀胱損傷、尿道損傷、急性陰囊症、膿腎症
21	7/11(木)	1	431	女性泌尿器科	本田 正史	腎泌尿器学	女性特有の泌尿器疾患の診断と治療	骨盤臓器脱、腹圧性尿失禁、間質性膀胱炎
22	7/16(火)	3	431	陰茎癌、尿膜管癌、後腹膜腫瘍、尿道カルシウム	引田 克弥	腎泌尿器学	陰茎癌、尿膜管癌、後腹膜腫瘍の診断と治療	扁平上皮癌、腺癌、肉腫
23	7/18(木)	1	431	腎移植	引田 克弥	腎泌尿器学	腎移植の適応、術式、術後管理	生体・死体腎移植、改正臓器移植法

教育グランドデザインとの関連: 2、3、6、7

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習してください。

学位授与の方針との関連: 1、4

授業のレベル: 3

評価: 定期試験80%・小試験10%・レポート10%

参考書: 標準泌尿器科学 医学書院 2014年2月発行